

【音がく】^{ぱそこん}パソコンなどで、みたりきいたりできるひとは、とりくんでみましょう。

＜べんきょうすること＞



◆音のたかさのちがいをかんじとりながら、『ドレミのうた』（きょうかしよ 20～21 ページ）をうたいましょう。

※参考動画 http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/gakushuukadai_shou2.html

- (1) 『ドレミのうた』をききましょう。うたえるようになるまで、くりかえしききましょう。
- (2) 手をつかって音のたかさをあらわしながら『ドレミのうた』の1ばんをうたいましょう。（どうがでやりかたをたしかめましょう。）
- (3) 音のたかさに気をつけて『ドレミのうた』をうたいましょう。（きょうかしよ 21 ページのしゃしんを見て、しせいやひょうじょうをまねしてみましょう。）

◆『なべなべそこぬけ』（きょうかしよ 60 ページ）をきいたりうたったりしてあそびましょう。

- (1) 『なべなべそこぬけ』をききましょう。
- (2) 『なべなべそこぬけ』のあそび方を、どうがで見てたしかめましょう。
- (3) うたいながらおうちの人とあそんでみましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

- ・『ドレミのうた』は、音の高さの違いに目を向けて歌うことが大切です。教科書 21 ページの風船の挿絵を指さしながら歌うなどしながら、音が少しずつ高くなっていくこの歌のおもしろさを味わえるように関わってあげてください。
- ・かぞえうたや手遊びうたは、楽しく遊びながら日本の音階に親しむことのできるものです。『なべなべそこぬけ』は、ぜひお子様と一緒にあそんでみてください。2人でできるようになったら、3人・4人と、人数を増やして遊ぶこともできます。